

「化石の卒業制作(7)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka



ただ台紙に化石を貼るだけでは「卒業制作」としては味気ない。このように「飾りタイトル」をつけてみたら、楽しいパネルになった。

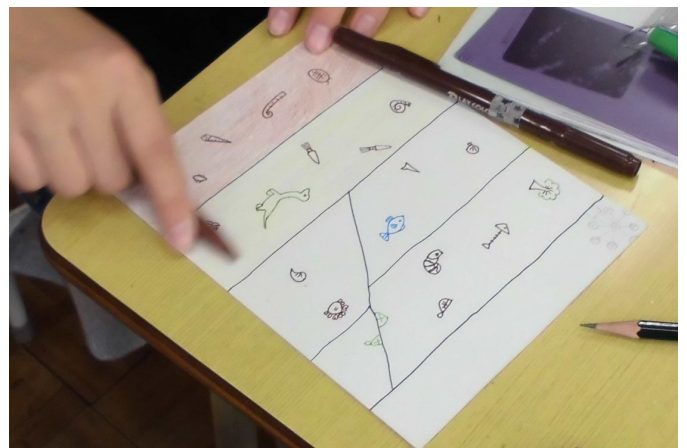


横位置にこだわらず、台紙を縦にしてみた。更に、時代(地質年代)の古いものを下に配置し、地層をイメージできるようにしてみた。国立科学博物館で見た、

先カンブリア代から現代までの、地層模型を思い出したのだ。この形が最も良さそうな気がしてきた。



結局4種類の「試作品」を作ってみた。一番右側のものには、三葉虫のレプリカも貼ってある。ここまで「教材研究」をしておけば、あとは授業におおすことに、何も心配はない。「何も心配ない」という教師の自信が、楽しい授業を約束してくれるのだと思う。



作り方を詳しく説明したあと、台紙(板目表紙)を配布。さっそく子どもたちは「地層の図」を描き始めた。地層の中に化石や生き物の絵を描く子どもが多い。



教科書に載っている化石の写真を参考に描いている。地層が「断層」になっているところも面白い。